

慈眼

第8号

発行所
小城郡三日月町
仁保2554 妙運寺内
TEL・FAX
0952-72-5805

日蓮宗佐賀
教化センター

発行責任者
辻 智 彰

印刷所 中野印刷所

唱えよう 広めよう

お 題 目

佐賀県宗務所長

三日月町 妙運寺住職

辻 智 彰



蒸し暑い毎日が続いていますが皆様にはお変わりもなく大法受持の毎日をお過ごしのことと存じます。

前宗務所長林孝隆僧正辞任に伴う改選によりまして、県内寺院ご住職の薦挙を戴き五月二十日付をもちまして、残任期間を引き継ぐことになりました。

素より愚浅鈍孝の身ではありませんが、県内御寺院の皆様方をはじめ、檀信徒の方々のご支援とご協力をいただきながら立教開宗七五〇年の大儀に向かってお題目総

弘通運動を推進し、大任にあたる覚悟でございませう。

何卒一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう特別にお願い申し上げます。

就任直後の五月二十八日には立教開宗七五〇年慶讃中央大会「発願の集い」が横浜アリーナで開催され、全国より一万三千名の僧俗が集い発願の光を掲げました。

そのなかで、九州教区の代表は『唱えよう・広めようお題目：親から子へ 子から孫へ：』と信心の相続を参加者全員の胸中深くそして日蓮聖人に声も高らかに誓願されました。

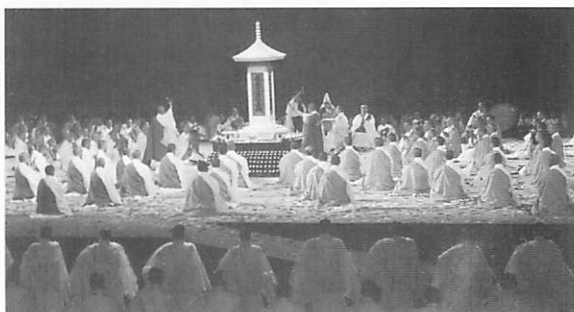
形あるものの相続は黙っていても相続してくれませんが、無形のもの、それも一番大切なお題目の信心の相続は難しいものなのです。

信心が信心を伝えるのです。

「法華経を餘人の読み候は口ばかり言ばかりは読めども心に読まず心は読めども身に読まず。」と日蓮聖人は法華経の実践を示されました平成十四年は立教開宗七五〇年の正当の年です。

小さくても良い。自分にできる誓願を掲げて七五〇年の大儀を迎えて戴きたいと念じています。

「中央大会 発願の集い」



“誓願の燈、 全国へ”

五月二十八日、横浜アリーナにて立教開宗七百五十年へ向けた「中央大会」発願の集い」が、全国より一万三千人の檀信徒を集め、岩間湛正宗務副総長の開會宣言により厳修された。

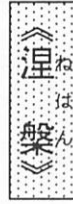
全国より選ばれた和讃講中二千五百人（県内より二百人）による和讃奉修にはじまり、田中日淳管長親下を先頭に百人の式衆が入場し大法要が開式、読経に入り田中管長親下が、「立教開宗七百五十年に向かい、日蓮大聖人の誓願を受け継ぎ、強盛なる菩提心をおこして法華経・お題目を一心に唱え弘めん。我等一同信心修行に励み、社会の平和と人類の幸福に尽さん……」との慶讃文を奉読され、続いて三百人の修法師による加持祈禱が行われた。その後中央壇上ご本尊に向かい各教区檀信徒代表が一人ずつ各々の想いを日蓮聖人に誓い、九州教区代表、小野敏昭氏も「親から子へ家庭信心を更に充実させたい……」との発願宣言を行った。そして二百余名の青年僧行脚隊が会場に響きわたる力強い太鼓とお題目の声高らかに入場し会場一体となった唱題が続いた。最後に日蓮大聖人、立教開宗の誓願を受け継ぎ、更に広く伝える証として「誓願の燈」とお題目の旗が各管区代表の青年僧に手渡され、感動のフィナーレを迎えた。

全国各地より集まった一万三千人の檀信徒（佐賀からも百二十人が参加）は、深い感銘を胸に更なる信心増進と、お題目の広宣流布を誓った。

【特集】

《お釈迦さま》そのIII

六号七号で、お釈迦さまのご生涯についてたどってきました。法華経をはじめ多くのお釈迦さまの教えが、「お経」として世界中の人々に受け継がれております。いよいよ今号では、お釈迦さまのご入滅・涅槃となりま



お釈迦さまはいくたびかの難にあわれながらも、四十五年もの長いあいだ、人びとを教化してこられました。

けれども、長い間の修行と布教の疲れで病気になるられました。

そしてクシナラーのサーラ林の双樹の下で頭を北に向けられ、右わきを下にし、両足を重ねて横臥され、休まれました。

お釈迦さまは、自分の死期を感じとられ、弟子たちに「わが亡き後は、わが教えを守れ」と教えを説かれました。

二月十五日の夜半、お釈迦さまは入滅なされました。

お釈迦さまの周りには大勢の弟子・信者たちがとり囲みサーラ双樹は時ならぬ花を開き、(サーラ双樹は、白鶴のように変色したので、ここを鶴林ともいいます。) 大小の動物たちはお釈迦さまの死がわかったのか声もなく、静かにそのまわりに集まり、悲しみました。

お釈迦さまの遺骸は、荼毘に付されたのち、教化を受けた諸国の人びとによつ



て八分され、それぞれ仏舎利塔が建立されました。遺骨を分けるのに用いられた瓶、荼毘ののちの灰もそれぞれもち帰られて瓶塔、灰塔が建てられ、合わせて十塔がお釈迦さまの恩徳をたたえるため十の地方につくられました。

お釈迦さまの教えは、現在まで脈々と伝えられ人びとを教え導き、また明るい光を今なお与え続けています

《久遠の本仏》

日蓮宗では、久遠実成本師釈迦牟尼仏といいますが、法華経の如来寿命品第十六に説かれる仏さまのことです。

寿命品において、インドに出現され法華経を説かれたお釈迦さまは、はるか久遠の過去に成仏され、それ以来、常にこの娑婆世界に在って人びとを教化し続けてきたのであります。しかも三世十方のすべての仏を統一する根本の仏であることが、説き顕されております。これを久遠実成といい、この仏さまを「久遠の本仏」といいます。

そしてこの寿命品に顕された久遠実成のお釈迦さまこそが、娑婆世界における一切衆生の頼るべき唯一の救済主であります。

ですから私たちは主の徳(衆生を守護するはたらき)、師の徳(衆生を教化し導くはたらき)、親の徳(衆生を慈愛するはたらき)の三徳を具えた教主釈尊を「久遠実成の本師釈迦牟尼仏」と信じ仰いでいます。私達が法華経・お題目を唱える時にはお釈迦さまはいつも私達のそばにいらっしやるのです。

創業102年

辻の堂の仏だんや

(株)本庄仏具総本店

佐賀市堀川町(辻の堂)
☎0952-23-2955(代)

花と葬儀 平安閣冠婚葬祭互助会

木下株式会社



佐賀市兵庫町 ☎(0952)30-4040(代)
(北部バイパス佐賀署前)



日蓮宗佐賀県青年会々々長
佐賀市 國相寺住職
松島 正 英

「日蓮宗佐賀県青年会結成四十周年記念
」お釈迦様を訪ねて「インド仏跡参拝」

日蓮宗佐賀県青年会が結成され、平成十年には四十周年を迎えようとしています。そこで私達は、記念事業としてインド仏跡参拝を企画致しました。法華経に帰依しお題目をお唱えする私達は、一度はお釈迦様の御心が宿るインドに参り、法華経が説かれた靈鷲山に行ってお題目をお唱え出来るならばこれ程の喜びはないと考えます。

青年会は、この大きな節目を迎え、その喜びを実際の喜びになさんが為、又長年の夢でありましたインド団参を実施する運びとなりました。

就きましては、一人でも多くの方とインドに参り、法華経・お題目に巡り合えた事に感謝の祈りを捧げたいと思っております。日程や参加要項は、下記の通りでございます。お釈迦様のご生誕の地(ルンビニー)、お悟りの地(ブツダガヤ)、初めて説法された地(サルナート)、法華経が説かれた靈鷲山(ラジキール)、ご入滅の地(クシナガラ)に参拝し、仏教徒の聖なるガンジス河(ベナレス)にて法要を行います。何卒御参加を賜わります様宜しくお願い申し上げます。お申し込み等詳細は、左記の所迄

お問い合わせ
〒八四〇 佐賀市愛敬町四一五四
國相寺内

日蓮宗佐賀県青年会
公〇九五二二二四一四〇四一

《参加要項》

旅行代金

三六五、〇〇〇円

(全食事含む)

旅行期間

平成九年十一月十六日(日) ~ 平成九年十一月二十七日(木)

募集人員

五十名(既に二十五名申し込みあり)

募集締切日

平成九年八月三十一日(日)

〇 日程

日次	月日(曜)	都市名	現地時間	日 程	食 事
1	11/16 (日)	福岡 デリー	12:10 15:35 19:45 22:20	福岡国際空港 国際線 旅行会社受付カウンター前「日蓮宗佐賀県青年会インド団参」看板前10:00集合! 搭乗・出国手続き後タイ航空にてバンコクへ 乗り継ぎデリー(インド)へ 着後専用車にてホテルへ	機内 機内
2	11/17 (月)	デリー	午前 午後	国内線にてバトナへ 着後、猿王拳密の地ヴァイシャリ参拝。(所要2時間) その後ラジキールへ(所要6時間)	機内 機内
3	11/18 (火)	ラジキール ブツダガヤ	早朝 午前 午後	早朝、靈鷲山にてご来光参拝・法要 ラジキール見学(竹林精舎・ピンビサーラ王牢獄跡等) ナーランダ仏教大跡見学 専用車にてブツダガヤへ(所要3時間)	機内 機内 機内
4	11/19 (水)	ブツダガヤ ベナレス	午前 午後	釈尊成道の地ブツダガヤ参拝(大塔・尼連禪河等) 専用車にてベナレスへ(所要8時間)	機内 機内
5	11/20 (木)	ベナレス サルナート	午前	ガンジス河にてご来光参拝・船上法要 日月山法輪寺参拝・法要 初転法輪の地サルナート参拝(ダメーク塔・考古学博物館)	機内 機内
6	11/21 (金)	ベナレス クシナガラ	午前 午後	専用車にてクシナガラへ(所要7時間) 釈迦ご入滅の地クシナガラ参拝(涅槃寺・茶毘摩訶)	機内 機内
7	11/22 (土)	クシナガラ ルンビニー	午前 午後	専用車にてルンビニーへ(所要5時間) 釈迦ご生誕の地ルンビニー参拝(マヤ堂)	機内 機内
8	11/23 (日)	ルンビニー バルランプール	午前	専用車にてバルランプールへ(所要6時間) カピラ城の遺跡見学	機内 機内
9	11/24 (月)	バルランプール ラクノウ	午前 夕刻	抵蘭精舎サヘト・舍衛城マヘト参拝 専用車にてラクノウへ(所要6時間) 国内線にてデリーへ	機内 機内
10	11/25 (火)	デリー	終日	(所要片道列車2時間・専用車4時間半) タージマールで有名なアグラ日帰り見学	機内 機内
11	11/26 (水)	デリー	終日	出発までニューデリー見学(国立博物館等) オールドデリー散策	機内 機内
12	11/27 (木)	デリー 福岡	0:30 6:00 10:15 17:35	搭乗・出国手続き後タイ航空にてバンコクへ 乗り継ぎ福岡へ(福岡の途へ) 到着後入国手続き 解散!	機内 機内

※インド国内の移動については現地の交通事情により時間等が変更になる場合があります。

〇日程表中のマーク 朝食 昼食 夕食

〇旅行代金

ご 出 発 日	旅行代金(おとなお一人様)
平成9年11月16日(日)	¥365,000(福岡発着)

※一人部屋追加料金(10泊) ¥59,000
※【座席手配のごあんない】 追加料金¥250,000(福岡~バンコク~デリー往復間で適用されます。)

《追善散華の申し込み受付》

ガンジス河にて船上施餓鬼法要を営みます。散華に皆様の先祖代々、法名等を書き入れご供養させて頂きたいと存じます。インド団参に参加出来ない方も是非、共お申し込み下さい。申し込み用紙は、各菩提寺様に配付してございますのでお尋ね下さい。

一靈位に付 一、〇〇〇円



手を合わせるころを大切に・・・

山本仏具

佐賀市呉服元町 10-12 23-4308
〒840 ☎(0952)

創業明治22年

旅館

あけぼの

佐賀市中ノ小路3-10 ☎(0952) 24-8181

寺院紹介 (八)

《福聚山 本経寺》

佐賀市材木一五十一十二



職住親恵井 繆

本経寺は片田江の交差点より国道三十四号線を鳥栖方面に向かい、バス停材木橋下車、北へ五十メートルの静かな住宅地に在ります。

【歴史】

寛永二(一六二五)年の創立です。開山は寿徳院日清上人で正福寺(佐賀市大財町)の開山でもあります。観照院(佐賀市高木町)の末寺として栄えてきましたが、昭和六年の火災により焼失。二十六世恵信院日仁上人が本堂、庫裡、山門薬師堂等の全境内建物の新築、墓地の整備等を達成されました。そして昭和四十八年二十六世一雨院日彰上人による二百坪の拡張、昭和五十四年薬師堂の改築等を経て現在に至っています。



【山号額】

第十九代日蓮宗管長、第七十九世身延山久遠寺法主、静岡県由緒寺院の貞松山達永寺第二十五世を勤められた本信院日慈上人直筆のものです。

【守護神堂】

お堂正面には、医王薬師如来が祀られ、その両脇には日天子(太陽を神格化したもの)、月天子(月を神格化したもの)の眷属を安置してあります。この勧請体系は日蓮宗では非常にめずらしく、正面の医王薬師如来は、五十年に一度ご開帳されます。

【ざくろの木】

本堂前に樹令百年を超えるざくろの木



ざくろの木

があります。古来より子育ての神様、鬼子母神様に祈願をなされる方々が、ざくろを捧げてこられました。



本経寺本堂・右手守護神堂

おわびと訂正

前号広告欄の木下株式会社電話番号七四一五六二一は三〇一四〇四〇(代)の誤りで訂正しておわび致します。



拝む心で尊い品を 仏壇・仏具・寺院用具・寺院納骨堂設計施工

梅谷佛具店

TEL092-271-0456

FAX 092-271-0464

〒812 福岡市博多区下川端町10-9 (地下鉄中洲川端駅下車)

フリーダイヤル ☎ 0120-39-0456

通産大臣認可 7産第2930号



株式会社 冠婚葬祭こころの会

三日月町大字久米2084-1 ☎72-3177・FAX72-3633

こころの会指定店

総合葬祭

有限会社

黄城

小城町270 ☎73-3938・FAX72-3633